

平成29年9月15日

保護者 様

須賀川市立西袋第二小学校長 高橋 弘之

全国瞬時警報システム(Jアラート)への対応について

早涼の候、保護者の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃より、教育活動にご支援・ご協力をいただき、御礼申し上げます。

さて、本日朝、2度目の全国瞬時警報システム(Jアラート)による情報伝達がありました。これに伴い、学校では、防災行政無線の緊急サイレンが聞こえた場合の行動について、児童に次のような指導を行いました。

北朝鮮から弾道ミサイルが発射された場合、10分程度の短時間で日本に飛来するとされています。Jアラートを受けて、改めて学校から連絡することは時間的に無理と思われるので、ご家庭におきましては、防災行政無線や緊急速報メール等の緊急情報、別紙資料(裏面)をもとに、適切に行動いただきますようお願いいたします。

記

■ 登校前や下校後または休日に家の中や近くの屋外にいる場合

- (1) すぐに家の中に入り、できるだけ窓から離れるか、窓のない部屋に移動する。
- (2) 第2報を待ち、ミサイルが上空を通過または日本の領海外に落下したなど、日本への落下がないとの情報が出てから外に出る(登校する)ようにする。

■ 登校中や下校中または休日に自宅から離れている場合

- (1) 近くの家や建物に逃げ込む。場所が自宅や学校に近い場合は、急いでどちらかに向かう。
- (2) 近くに建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せて頭部を守る。
- (3) 第2報を待ち、日本への落下がないとの情報がでてから、学校や自宅に向かう。

■ 学校にいる場合

- (1) 職員の指示や誘導により、すぐに校舎内の職員室廊下に避難する。
- (2) 第2報を待ち、日本への落下がないとの情報がでてから、授業等を再開する。
- (3) 近くにミサイル等が落下した場合は、直ちに授業を中止し、安全が確認されるまで児童を学校に待機させる。
- (4) 安全が確認された後、家庭への連絡を行い、保護者による児童の迎えをお願いする。

(事務担当：教頭 笹島明美 Tel. 76-5132)

弾道ミサイル落下時の 行動について

弾道ミサイルは、発射から極めて短時間で着弾します。ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、国からの緊急情報を瞬時に伝える「Jアラート」を活用して、防災行政無線でサイレン音とともにメッセージを流すほか、緊急速報メール等により緊急情報をお知らせします。

メッセージが流れたら

落ち着いて、直ちに行動してください

＜屋外にいる場合＞

できるだけ頑丈な建物や地下に避難する



＜近くに建物がない場合＞

物陰に身を隠すか
地面に伏せて頭部を守る



＜屋内にいる場合＞

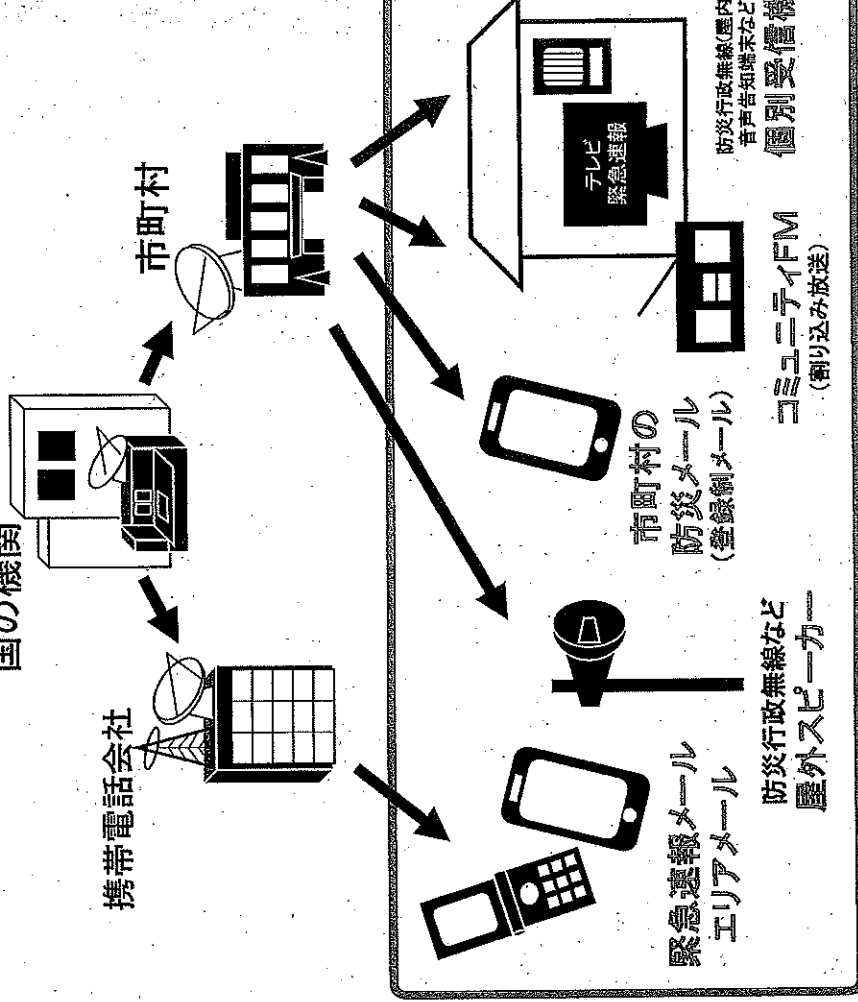
できるだけ窓から離れるか
窓のない部屋に移動する



緊急情報の流れについて

北朝鮮から発射された弾道ミサイルが日本に落下する可能性がある場合、Jアラートを使用して、防災行政無線やコミュニティFMの割込み放送で特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、緊急速報メール等により緊急情報が流れます。

国の機関



- 携帯電話、スマートフォンなどの緊急速報メール、エリアメールを受信できますが、一部には受信できないものがあります。
お使いの機種が受信できるかどうかの確認方法と、受信できない場合等の対策として、消防庁が作成した資料を県のホームページにも掲載していますので、ご覧ください。
- 市町村からの緊急情報のお知らせ方法については、市町村によって異なりますので、お住まいの市町村にお問い合わせください。

検索 福島県 危機管理課